

都市再生整備計画 事後評価シート
三川内山地区

平成24年2月

長崎県佐世保市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長崎県		市町村名	佐世保市		地区名	三川内山地区			面積	50ha		
交付期間	H19~H23		事後評価実施時期	H23		交付対象事業費	257.9	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	公園:三川内山公園 地域生活基盤施設:三川内山公園隣接駐車場 街なみ環境整備事業:道路美化(市道三川内循環線、市道三川内天満宮線)、通路整備(まちめぐり道、やまめぐり道)、小公園整備、案内板設置									
			提案事業	地域創造支援事業:三川内川親水護岸									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	街なみ環境整備事業:助成事業(煙突の保全)		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	なし		なし			まち並み景観の満足度に関連するが、指標、数値目標等は据え置く。				
	新たに追加した事業		基幹事業	道路:市道三川内循環線		街なみ環境整備事業の道路美化では、道路側溝の新設ができなかったため			なし				
			提案事業	なし		なし							
交付期間の変更		当初	H19~H23		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	はまぜん祭りの来場客数	人	20,000	H18	25,000	H23	22,000	22,000	△	あり なし ●	地域生活基盤施設以外の事業が指標の向上に貢献している。	平成24年5月
	指標2	まち並み景観の満足度	%	27	H18	50	H23	44	50	○	あり なし	すべての事業が指標の向上に貢献している。	平成24年10月
	指標3	歩行環境の満足度	%	11	H18	50	H23	25	29	△	あり なし ●	公園、道路、街なみ環境整備事業が指標の向上に貢献している。	平成24年10月
	指標4	公共施設の満足度	%	17	H18	50	H23	64	77	○	あり なし	公園、道路、地域生活基盤施設、街なみ環境整備事業が指標の向上に貢献している。	平成24年10月
指標5									あり なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1													
4)定性的な効果発現状況	市道の側溝を暗渠化したことにより、自動車走行時の騒音が以前よりも小さくなった。 はまぜん祭りなどのイベントのとき以外にも、目に見えて来訪者が増えている。 地区のまちづくりに関わる人が増えており、以前よりも地元はまちづくりに関して前向きに進んでいる。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	地区住民に対し、毎年満足度アンケートを行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●				
	住民参加プロセス	三川内山まちづくり協議会と協議を行い、地区の整備方法について決定した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●				
	持続的なまちづくり体制の構築	三川内山まちづくり協議会が公園等の通常の維持管理を行うこととしている。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●				

様式2-2 地区の概要

三川内山地区(長崎県佐世保市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
豊かな自然と焼き物の里としての歴史・伝統を継承した景観・環境整備による来訪者と住民の交流空間づくり ①自然・歴史・伝統を活かした本物のある里づくりを図る。 ②地区住民がゆとりを持って住み続けられる安全で快適な里づくりを図る。 ③訪れる人が印象に残る体験ができ、地区住民との交流ができる里づくりを図る。	はまぜん祭りの来場客数	単位:人	20,000	H18	25,000	H23	22,000	H23
	まち並み景観の満足度	単位:%	27	H18	50	H23	50	H23
	歩行環境の満足度	単位:%	11	H18	50	H23	29	H23
	公共施設の満足度	単位:%	17	H18	50	H23	77	H23



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 施設等の整備により、まち並み景観、歩行環境、公共施設の満足度は上昇している。 地区の知名度を上げ、来訪者を増加させる必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 整備を行った施設や歴史が感じられるまち並みなどを活かし、来訪者の増加を目指す。 整備を行った施設や昔ながらの街なみ、はまぜん祭りなどのPR活動を行い、多くの人に知ってもらうことで、来訪者を増やす。 来訪者に満足してもらえるようなもてなしの仕組みを作り、来訪者にまた来たいと思わせるようなもてなしを行う。 まちづくりは人づくりなので、施設の整備だけでなく、人づくりをすることで、次のまちづくりにつなげる。